



企業成長のカギ

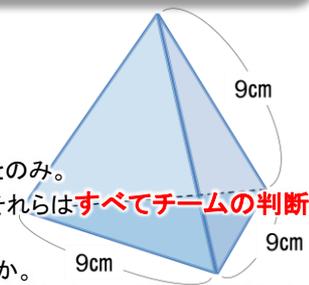
ビジョン
経営戦略

+

組織の継続的な
学習と変革

<成功の要因>

- ・ 組織内での活発なコミュニケーション
- ・ アイデアのシナジー効果



—製造業を疑似体験—

1チーム6名を1つの会社とみなし、経済活動を行います。
指定されるのは、1辺9cmの正四面体(三角すい)を作るのみ。

どのように設計図を作り、どのように作り上げていくのか。それらは**すべてチームの判断にゆだねられます**。

事業計画通りの生産、販売、そして利益の計上ができたのか。
結果から得られた情報を元に、受講生はよりよい結果を求めるために、改善に乗り出します。

目的	➢ 改善を繰り返し強い組織となる下地を醸成する
効果	➢ PDCAサイクルを体験することによる振り返り・改善の効果の理解 ➢ 目標を共有し、力を合わせることによる意思疎通の重要性の理解 ➢ 会計知識、利益・コスト意識を身に着ける
対象	➢ お客様のご要望に合わせた対象での実施が可能 ✓ 役職、階層に応じて難易度の設定が可能になっています。 ✓ P/Lの勘定科目を増やしたり、時間、ルールを厳しくすることで、難易度を目的と対象にあわせて変更することが可能です。
時間	➢ 5時間～10時間(GSI調査を除く) ✓ 時間をかけることで振り返り、改善案の時間を多く取ることができ、効果が深まります。

仕事に求められる改善の意識は、その効果を体験することで初めて身に付きます。
PDCAを体験し、チームで目標に突き進む。まさにチームビルディングに求められる能力を養成します。

6人1グループで仮想の会社を興し、経済活動を行います。

1. 会社づくり、メンバーの役割分担



就任する役割と責任の確認
企業理念の設定

2. 第1期事業計画作成
生産、販売



利益目標の設定
事業活動
(品質によって売上が決定)

3. 第1期 決算・振り返り



決算(売上・原価・利益)

4. 第2期事業計画作成
生産、販売、決算



第1期の結果を踏まえて改善点を考え、第2期の事業に活かす

5. 予算実績差異分析、2期差異分析



売上、原価、利益
第1期からの変更と結果の考察

GSI調査実施

グループ・スタイル・インベントリー(Group Style Inventory: 以下『GSI』)

- ① グループのメンバーが企業の経済活動を体験する過程で、如何に効果的に議論できたかを、12の軸を用いて採点、円環図表に表示する。
- ② チームビルディングで体験したことをその場でお互いにフィードバックし、グループの特性や問題点を洗い出す。



詳しい情報は・・・[こちらをクリック](#)

またはお電話03-3257-8848 まで